

# 平成26年度 決算の概要

平成26年度の一般会計は、震災復興の再生期から発展につなげるため、復興事業の早期完成に向けた積極的な取り組みを行いました。

決算では、歳入が約648億8千万円、歳出が約615億2千万円で、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支額は、約33億6千万円となり、昨年度に引き続き、歳入が大幅に上回る結果となりました。

財政課財政担当 ☎ 23-5029

## 一般会計の歳入・歳出

### ◆歳入

最も大きいのが、国から交付された地方交付税の約190億7千万円で、歳入の29.4%を占めています。地方交付税とは、国税のうち、所得税、法人税、酒税、消費税などの一定割合の額を、地方公共団体が等しく一定の行政水準を維持することができるように、国が交付する税です。前年度と比較して震災復興関連の特別

な交付税が減少したことにより、約5億3千万円の減となりました。

市税は、市民税の増加により約2億6千万円増の約159億3千万円となりました。

国庫支出金は、昨年度より約15億3千万円減の約70億6千万円となりました。これは地方交付税と同様に震災復興関連の収入の減少によるものです。

財源比率は、自主財源が40.7%に対して依存財源が59.3%となっています。財政基盤の安定と行政運営の自主性を高めるため、市税をはじめとする自主財源の確保が必要となります。

最も大きいのが民生費で28.9%となりました。続いて土木費、衛生費、公債費、総務費となっています。前年度と比較すると、民生費は震災に伴う災害救助費は減少しましたが、社会福祉費や児童福祉費は増加し、約13億円増の約177億9千万円となりました。

土木費は災害公営住宅の建設などの復興事業を推進したことで、約33億8千万円増の約92億7千万円となりました。

衛生費は市民病院建替のための出資額の減少により、約23億5千万円減の約73億9千万円となりました。

公債費は約2億4千万円減の約71億5千万円となりました。市債の計画的な償還を行いながら、財政健全

化を目的とした繰上償還も併せて実施しました。総務費は震災復興関連の国からの交付金を基金に積み立てる金額が大幅に減少したことで、約10億6千万円減の約62億7千万円となりました。

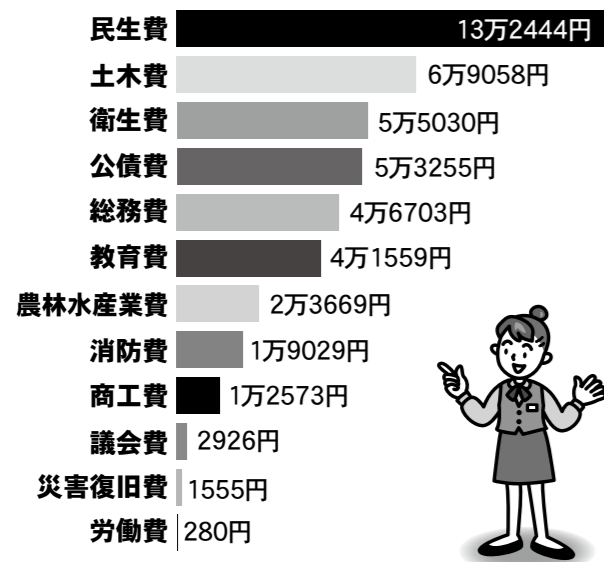
平成26年度決算における災害復旧費は約2億1千万円となりました。そのうち震災に伴う災害復旧費は、旧有備館や中学校などの教育施設の復旧に約1億5千万円を執行しています。

扶助費は臨時福祉給付金などの社会福祉費のほか、児童福祉費、生活保護費が増加となり、約9億5千万円増の約106億6千万円となりました。

普通建設事業費は約46億円増の約101億2千万円となりました。

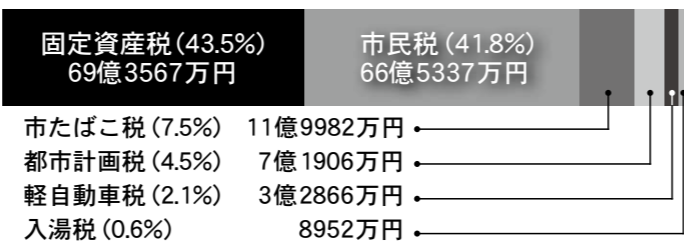
人件費は定員適正化計画に基づく計画的な職員数の管理によって約7千万円減の約78億5千万円となりました。

### 市民1人当たりに使われた金額 45万8110円



※平成27年3月31日現在の人口 13万4292人で算出

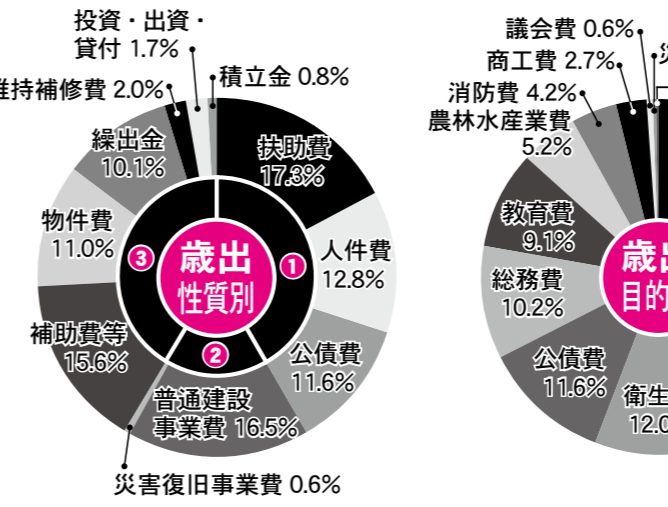
### 市民1人当たりが納めた金額 11万8593円



入湯税の使いみち	
源泉保護などの温泉施設管理のほか、観光施設整備や観光振興などを行う経費の一部に使われています。	
観光施設維持管理	1億1573万円
温泉事業	3524万円
観光振興	1583万円
合計	1億6680万円

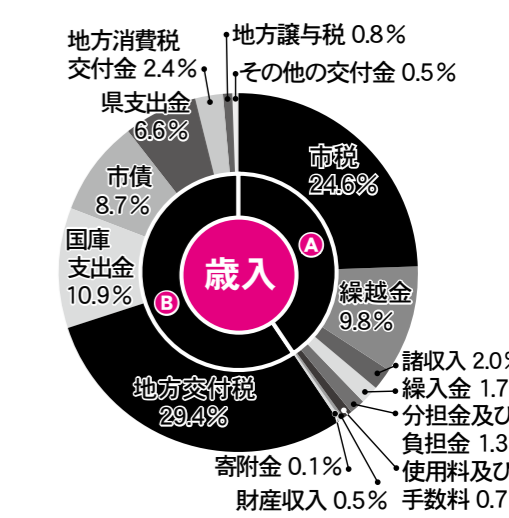
都市計画税の使いみち	
都市計画事業を行う経費の一部に使われています。	
下水道	15億8875万円
市街地開発	5億18万円
街路	1億586万円
公園	8826万円
合計	22億8305万円

### 歳出 615億2054万円



- 目的別
  - 民生費……………177億8615万円
  - 土木費……………92億7394万円
  - 衛生費……………73億9014万円
  - 公債費……………71億5172万円
  - 総務費……………62億7180万円
  - 教育費……………55億8109万円
  - 農林水産業費…31億8258万円
  - 消防費……………25億5539万円
  - 商工費……………16億8845万円
  - 議会費……………3億9290万円
  - 災害復旧費……2億882万円
  - 労働費……………3756万円
- ①義務的経費 41.7%
  - 扶助費……………106億6088万円
  - 人件費……………78億5094万円
  - 公債費……………71億5172万円
- ②投資的経費 17.1%
  - 普通建設事業費 101億1681万円
  - 災害復旧事業費 3億9161万円
- ③その他の任意的経費 41.2%
  - 補助費等……………96億1327万円
  - 物件費……………67億4438万円
  - 繰出金……………62億1842万円
  - 維持補修費……12億162万円
  - 投資・出資・貸付 10億5330万円
  - 積立金……………5億1759万円

### 歳入 648億7712万円



- ▲自主財源 40.7%
  - 市税……………159億2610万円
  - 繰越金……………63億4055万円
  - 諸収入……………13億1262万円
  - 繰入金……………11億1729万円
  - 分担金及び負担金 8億3912万円
  - 使用料及び手数料 4億6762万円
  - 財産収入……………3億4307万円
  - 寄附金……………5382万円
- 依存財源 59.3%
  - 地方交付税……190億6977万円
  - 国庫支出金……70億5545万円
  - 市債……………56億1370万円
  - 地方消費税交付金 15億6191万円
  - 地方譲与税……5億4895万円
  - その他の交付金…3億1330万円

### 用語解説

- 【義務的経費】扶助費 生活保護費や各種医療費の助成など
- 【投資的経費】普通建設事業費 道路や公園学校、市営住宅など公共施設の建設費など
- 【その他の任意的経費】災害復旧事業費 災害時の公共施設の補修費など
- 【扶助費等】特定の事業や団体への補助金や負担金、報償金、寄附金など
- 【物件費】光熱水費や消耗品費、委託料、使用料など
- 【繰出金】特別会計など他会計への繰り出し
- 【維持補修費】道路や学校など、公共施設の維持補修経費
- 【投資・出資・貸付金】融資資金などの貸付金
- 【積立金】特定の目的のための基金への積み立て